



指導者養成事業

妙高アドベンチャー プログラム指導者養成研修

スキルアップ研修…5月25日(金)～26日(土)
指導者養成研修…6月8日(金)～6月10日(日)に実施

妙高では、「野外炊事」や「オリエンテーリング」、「源流探検」などの自然体験活動を通して、人間関係を深めることができます。この事業は、自然体験活動の効果をさらに高める妙高アドベンチャープログラム(通称MA)の指導者を育成します。またすでに指導にあたっていている人たちにとって、より質の高い指導ができるような研修を行います。

今年「指導者養成研修」には、学校の先生方や教員をめざす大学生など12名が、また「スキルアップ



研修」には活躍中のMA指導員の方10名が参加しました。講師は、それぞれプロジェクトアドベンチャージャパンからお招きしたトレーナーの方です。MA指導のために必要な知識や指導技術をわかりやすく教えていただきました。

ここで学ばれた皆さんには、今後MAの指導員として、また学校におけるよりよい集団作りの一環として、この研修を生かしていただけることを大いに期待しています。

妙高ネイチャープログラム 指導者養成研修会

6月29日(金)～7月1日(日)に実施

この事業は、環境教育等の講義・演習や妙高ネイチャープログラムの体験を通して、環境教育の指導者としての必要な資質や指導力の習得を目指しています。

今年は、上越教育大学の准教授や地域の専門家を講師としてお招きすることにより、現地での実習も含めより専門的な内容に踏み込むことができました。内容と指導者は以下の通りです。

「学校現場における環境教育のあり方」

上越教育大学特任准教授 渡辺径子 氏

「妙高火山」

上越教育大学准教授 大場孝信 氏

「星空観察」

上越天文教育研究会会長 村山 暁 氏

「源流探検」

自然観察指導員 澤田賢一 氏

「フナ林探検隊」

上越森林管理署流域管理調査官 梨本正昭 氏

最後に研修のまとめとして行った源流探検のプログラム立案では、グループごとに活発な意見交換が行われました。2日間の研修内容をもとに、各参加者の発想の広がりを感じることができた。自然体験の楽しさを子どもたちに伝える指導者として、活動の幅を広げてくださることを期待しています。

「環境を学習するという大きなテーマが感じられ、ストーリーのあるプログラムだった。」

「参加者同士の意見交換がたいへん参考になり、ネットワークができた。」などの感想が寄せられました。自然体験の楽しさを子どもたちに伝える指導者として、活動の幅を広げてくださることを期待しています。

「環境を学習するという大きなテーマが感じられ、ストーリーのあるプログラムだった。」



平成24年度



MYOKO

ポランテア養成所

(兼：文部科学省自然体験指導者養成事業 補助指導者養成研修)

5月19日(土)～20日(日)に実施

「ポランテアのお兄さんが、いっぱい遊んでくれて楽しかった！」

「一人ではできなかったことも、ポランテアのお兄さんが一緒にやってくれたからできた！」

これは、事業に参加した子どもたちの感想です。子どもたちにとって、ポランテアのお兄さん・お姉さんの存在は、とても大きなものだったようです。

今年で6回目を迎えたこの事業は、近隣の学生22名が参加しました。ポランテア活動の意義や青少年教育について学んだり、応急手当の方法やリスクマネジメント



について実践したりと、内容の濃い1泊2日となりました。

この「ポランテア養成所」に参加し、申請すると、「法人ポランテア」として登録することができます。「法人ポランテア」は、全国にある28カ所の国立青少年教育施設で行われている各事業で運営や指導など、様々なポランテア活動を行うことができます。

法人ポランテアへの登録は、15歳以上(中学生を除く)で青少年教育に関心のある方なら、どなたでもできます。ぜひ、ここ妙高青少年自然の家で、新しい一歩を踏み出してみませんか。

自然体験活動指導者養成研修

文部科学省自然体験指導者養成事業
全体指導者養成研修「体験活動推進プロジェクト」

8月17日(金)～19日(日)に実施

近年、青少年の社会性や豊かな人間性の育成を図る上で重要な、自然体験活動などの機会が減少していると感じられています。すべての子どもたちに体験活動の機会を提供するためには、地域で体験活動の機会を増やしていくことと併せ、学校での体験活動を充実していくことが求められます。新しい教育課程に取り入れられた自然体験活動を中心とする長期集団宿泊活動が円滑に実施されるためにも、学校や地域が実施する活動を支援・協力する人材の養成が不可欠となります。

この事業は、教育効果の高い自然体験等の活動の機会を提供するために、プログラム企画立案や活

動の指導・助言などを行う指導者の養成を目的として実施し、大学生、社会人など26名の方が参加されました。「体験活動の意義と青少年教育施設の役割」などの講義、「人とかかわるプログラム・自然と関わるプログラム」の実習、「活動プログラムの企画・立案」の演習などを行い、体験活動指導者としてのスキルを学びました。閉講式では所長から参加者全員に修了書が手渡され、「自然体験活動指導者」として登録されました。自然体験活動指導者の活躍により、子どもたちの体験活動が、より豊かであり多くの環境が整うことを願っています。

